
つれづれ (4) 森でクマに出会ったら気をつけよう

土堀 友

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

つれづれ (4) 森でクマに出会ったら気をつけよう

【Nコード】

N6064M

【作者名】

土堀 友

【あらすじ】

森でクマに出会ったらどうしましょ。

クマさんも驚くことでしょう、そこでクマさんは一ひねりしますが、私は引っかけりません。

つれづれ（四）「クマに出会ったら気を付けよう」

登記簿謄本を取りに公民館に行った。

本人確認が必要となって、係りのオジサンの「運転免許証はありますか」という声に免許証を差しだす。オジサンはコピーした免許証を見ながら、生年月日・氏名……。赤ペンでレ点を入れる。

私の顔など一度も見ずに書類が揃っていればそれでOK、私を証明する書類があれば客観的、理性的に私を証明することができるらしい。

免許証が無かったら、いったい私は何者なのか。相手は私を主観的な感性で認識するであろう、私がすると同じように。

森の中で熊に出会ったら私はどうするだろうか。

恐らく、穴の開くほど相手を見つめ、その危険性を探るであろう。熊にしても同様、人間は恐ろしい生き物だ。鉄砲を持っていないか必死に私を観察するだろう。

主観的な感性、つまり『感じる心』は、動物の方が人間よりはるかに優れている。私たちは、客観的な理性に浸り過ぎているのだ。森の中で熊に出会ってお互いびっくりして立ち止まる。

次に熊が「私は怪しいものではありません、ここに免許証があります。ですから、どうか私を鉄砲で撃たないでください。」と言って免許証を差しだす。

私はつい、いつもの癖で熊の顔など見もせずに、免許証をコピーして赤ペンでチェックを入れる。

次の瞬間、熊は私に食らいにつき、私は造作なく熊の胃袋に収まってしまう。

熊がしたり顔で身分証明書を差し出したら気を付けよう。きっと、

相手を安心させようとしているのだ。

さて、第二回目の文学講座は『囲碁と文学について』
話の内容は囲碁の紹介。で、興味の無い私は講師には申し訳ない
が終始居眠り。

小さな川の畔^{ほとり}、岩に腰掛けてのんびりと釣りをする仙人が一人。
その脇の木陰には二、三人の仙人が「ああでもない、こうでも無い」
と、囲碁を打っている。そんな幻想的な情景が目につかぶ。

囲碁の事はわからないが、楽しそうに囲碁の解説をする講師の醸
し出す雰囲気、何ともものんびりと、穏やかなものに感じた。

『講師は学校の先生で、歳を取り第一線を離れ仲間と文学グルー
プを作っている。そしてせちがらい浮世から足を洗い、悠々自適の
生活を送っている。』そんな風に私は想像してみた。

いつか、講師の先生の略歴とでも云おうか、そんな話も聞いてみ
たい。

ここ一週間は忙しかった。

仕事もそうだが町内でお葬式があり、組長である私は受付や雑用
に追われて飛び回った。『欲望と打算が渦巻く喧騒の世界』、それ
が現世か？

文学講座の会場そばには、大きな池がある。オニバスの花がたく
さん咲いており、雨上がりの濁った水面には大きな鯉が水しぶきを
上げて泳いでいる。

その様な中で、私は芥川龍之介の蜘蛛の糸の話を思い出した。
^{かんた}？陀多に限らず、この世で罪を犯した人間達が鯉に転生して血の

池ならぬドロ水の池の中をうごめいている。ゾツとした思いで池の
ほとりから中を覗きこむ私。龍之介はその様な情景の中でその作品
を書き上げたかも知れない。このように想像すると楽しい。

ウチは七月盆、ご住職がお経をあげている。

「ご先祖様に手を合わせるのも、今年で五度目。
私はこの瞬間現世から離れる。」

今回の文学講座は、『空蝉と軒端荻の囲碁かいま見（空蝉帖）』
というおみやげが良かった。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6064m/>

つれづれ （４） 森でクマに出会ったら気をつけよう

2010年12月30日19時48分発行